

社会福祉法人春健美会 いなぎのぞみ保育園 令和3年度事業計画

- ・緑豊かな自然に囲まれ、四季折々の自然にたくさん触れ、豊かな経験をし、のびのびと楽しめる保育をしていきます。
- ・くつろいだ雰囲気の中で情緒が安定し、子どもたちにとって保育園が心地よく過ごせるとして環境を作ります。
- ・子どもたちの笑顔を大切にし、明日も保育園に行きたいと思えるような環境作りに努めます。
- ・地域の中で安心して子育てが出来る拠点となるよう、一時保育事業や育児相談・園庭開放・行事へのお誘いなど子育てなど支援の輪を広げていきます。保育所として、又、福祉施設としての役割を十分に果たして参ります。
- ・保育の質の向上において、それぞれの職務内容に応じた専門性を高めながら、自己評価を通じて課題の把握と改善を図ります。

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	常勤保育士数	園児数	備考
すずらん	0歳	3	9	
つくしんぼ	0歳	3	9	
あやめ	1歳	3	15	
すみれ	1歳	3	15	
なのはな	2歳	3	18	
たんぽぽ	2歳	3	18	
れんげ1	3歳	1	20	
れんげ2	3歳	1	20	
あざみ1	4歳	1	18	
あざみ2	4歳	1	18	
こすもす1	5歳	1	17	
こすもす2	5歳	1	16	
フリー保育士		1		
一時保育担当				
合計		25	193	

イ 月別保育予定数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293日
25	23	26	26	25	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	22	26	

ウ 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差(個性)を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- [1] 日常養護・健康管理
- [2] 病気の予防と早期発見
- [3] 安全と事故防止
- [4] 健康増進と保健指導
- [5] 環境衛生

年間保健行事

保健行事	対象年齢
園児健康診断	全園児 年2回
歯科健診	全園児 年1回

エ 保育方針

- ・子育てしやすい環境を地域とともに作り、保護者の気持ちに寄り添いながら、子どもの健やかな成長発達を援助する。
- ・子どもをとりまく多くの大人に愛され、あたたかい家庭的な雰囲気の中で、人として尊厳を守られ、生き生きと活動できる環境を整える。
- ・安全な環境の中で、ひとりひとりの子どもの健康と成長を見守り、身のまわりのことが自分でできる力、豊かな感性、自己を発揮できる意欲や態度を豊かな経験を通して育てる。
- ・色々な仲間や自然とふれあう中で、思いやる心、おたがいの違いを認め尊重する気持ちを育てる。
- ・地域の人々とともに育ち、支え合う保育園として、ニーズに合った情報を提供し、地域の子育て家庭をあたたく迎え、相談事業などさまざまな子育て支援事業を進める。

オ 各組の保育目標

こすもす組(5歳児)の年間目標

- ・年長児として自覚を持ち、生活や遊びの中で、一つの目標に向かい力を合わせて活動し、達成感や充実感を友だちと一緒に味わう。

あざみ組(4歳児)の年間目標

- ・いろいろな経験をする中で自信を持つ・保育士や友だちと一緒に遊びながら、つながりを広げる。

れんげ組(3歳児)の年間目標

- ・基本的な生活習慣を身に着ける。・友だちの思いに気づいたり一緒に遊ぶことを楽しむ。
- ・保育士や友だちと遊ぶ中で自分のしたいこと、言いたいことを言葉や行動で表現する。

たんぽぽ・なのはな(2歳児)の年間目標

- ・衛生的に安全な環境のもとで、自分でしようとする意欲が芽生える。
- ・保育士や友だちとの関わりを通じて言葉の基礎ができ遊びが広がる。

すみれ・あやめ(1歳児)の年間目標

- ・安心できる保育士との関係のもとで、自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・好奇心や自分のやりたいという気持ちを育てる。

つくしんぼ・すずらん(0歳児)の年間目標

- ・一人ひとりの欲求を受け止め、情緒の安定を図りながら信頼関係を深める。
- ・発達の個人差に配慮し、周りへの興味好奇心の芽生えを育てる。

カ 主な行事予定

別途添付

キ 食事

[1] 目標

- ・お腹がすくりズムの持てる子ども
- ・食べたい食材、好きなものがふえる子ども
- ・一緒に食べたい人がいる子ども
- ・食事づくり、準備にかかわる子ども
- ・食べものを話題にする子ども

食育の促進 ・薄味、和食献立に心がける。
・旬の食材を使い、行事食を取り入れた献立作りを心がける。
・栄養のバランスを考えた給食の提供を行う。
・ミニ菜園作り、クッキングなどを実施する。

毎 月一 月一 予定献立表の配布をする。

給食だよりーいなぎのぞみ保育園の食事の紹介や栄養情報などをまとめ、月1回発行する。

食を考える一月1回の給食会議にて献立についての感想や反省、改善などや提供された食事への感想

反省、改善策などを出し合い、おいしく、また子どもの健康維持ため食事作りを進めていきたい。

また、食育を含め食全般についての研修、話し合いの場としていきたい。

展 示 食一玄関に、その日の給食の見本を展示する。

[2] 衛生管理

- 衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認している。
- 調理人の細菌検査月1回、6月～10月 月2回、11月～3月ノロ検査実施
- 調理室・乳児調乳室の掃除、ワゴン清掃(毎日)冷蔵庫消毒、食器洗浄後熱風庫にて保管
原材料・調理済み食品の保存(2週間)をしていく。

[3] 離乳食に関して

個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。1歳児の食事に関しては、離乳食完了食後間もないので、7か月まではそのまま離乳食(完了食)を準備し更に充実させていく。

アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状に合わせて、医師の指示を基に必要により対応していく。

<離乳食の進め方>

- ① 食べやすい形で…子どもの状態にふさわしい形状で提供。発達に応じて手づかみ食べを十分にし、咀嚼を十分に経験できるようにしていく。
- ② 栄養と食品のバランスを考えて…準備期は別として、ある程度進んだら離乳食の中に穀類・タンパク質類・野菜の三種類を合わせる。アレルギーを起こしやすい卵については、中期食迄使用しない献立にする。
- ③ 薄味で…調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理する。